

こんにちは

会社訪問記

水を中心とする環境文化と、安全で“快適な自然環境の創造”を通して社会に貢献。

株式会社エステム

(名古屋市南区)

水処理技術で環境保全に取り組む株式会社エステム。名古屋市南区にある本社に伺い、鋤柄社長、新家取締役、齋藤部長のお三方にお話をさせていただきました。

——創業されたのは何年でしょうか。

鋤柄社長（以下鋤柄に略）

『創業者で現会長の濱島が昭和45年に創業いたしました。創業のきっかけは、当時の水処理施設のメーカーが設備の販売のみに目を奪われ、メンテナンスに関心が薄かったことに現会長が着目したことにはじまります。その当時はメンテナンス専門会社もなく、資本のかからないメンテナンスこそ事業を起すには最適と考え、会社を設立したという経緯があります。』

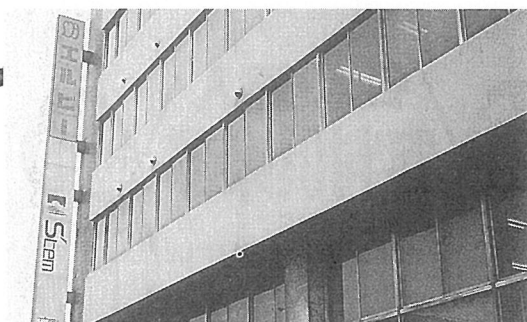
——現在も事業内容は主にメンテナンス業務だけなのですか。

新家取締役『各種水処理施設のメンテナンス及び保繕工事はもちろん、各種水処理施設的设计・施工。スクリープレス式脱水機、プラント用機器管理無人監視操作システム、マンホールポンプ場の機器を24時間365日遠隔監視するエスアラームシステム、プラントマスターの開発。また、活性汚泥を使い、食品工場・ゴルフ工場の排水を浄化するリアクターシステムや汚泥脱水機の販売。さらに環境測定・微生物試験から下水管・ピット等の清掃など、幅広く水処理事業に取り組んでいます。メンテナンスを出発点に、多彩な事業内容に成長してきたといえます。』

——産業廃棄物処理では何を取扱っていらっしゃいますか。



鋤柄社長



社名/株式会社エステム 所在地/名古屋市南区弥次工町2-9-1
代表者/鋤柄 修 創業/昭和45年 従業員/204名
TEL/052(611)0611 事業所/本社、三重支店、6営業所
営業種別/収集運搬、中間処理 取扱い品目/汚泥

鋤柄『品目としては汚泥のみ。収集運搬と脱水を行う中間処理の2つの許可をいただいています。処理方法は、基本的に微生物を利用したバイオ技術で有機性汚泥を分解し、自然に戻すことを目的としています。また、当社は廃棄物のリサイクルを視野に入れたコスト的に合う処理体制をめざしています。』

——貴社は、日本一の有資格者エンジニア集団だとお聞きしたのですが。

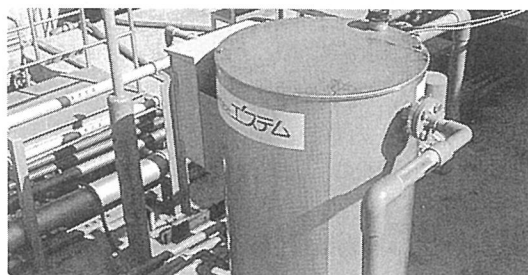
齋藤部長『日本一かどうかは別として、確かに当社の社員は有資格者が多いですね。業務の性質上、施設の運転管理や故障時の修理復旧には専門技術を持っていないと対応できません。204人いる全員のうち約80%は何らかの資格を持っています。一人あたりのエンジニアの有資格数は平均7~8。おそらくこれは日本一かもしれません。』

——今後、新しく取り組まれる事業のご予定はありますか。

鋤柄『環境問題という大きなテーマの中から、例えばヘドロの処理、水辺の景観整備などに取り組み、新しく事業化を行っていきたいと考えています。』

——では最後に、経営理念を教えてくださいませんか。

鋤柄『水を中心とする環境文化と、安全で“快適な自然環境の創造”を通して社会に貢献することです。』



リアクターシステム